

2025年度の事業報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人みんなの教室

1 事業の成果

2025年度のみんなの教室は、NPO法人第四期だった。2025年4月からは、別府市の新しい取り組みであった「別府市フリースクール等利用児童生徒支援補助金」制度は大分県の取り組みとなった。実施自治体はすでに取り組んでいる別府市と日田市のみであったが、さらに実施する自治体が増えることを期待したい。また、クラウドファンディングにて、「誰でも利用できるフリースクール奨学金をつくりたい!」という目的のもと寄付金集めをし、目標額を達成することができた。みんなのコレクションやこどもみらいフォーラムべっぷでは、地域の子どもやこども関係者を巻き込み開催することができた。子どもたちや保護者のニーズをとらえ、子どもたちに寄り添いながらも子どもアドボケイトとしての役割を果たし、地域の子どもに対する意識を変容させていった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額(単位: 千円)
フリースクール事業	フリースクールに来た児童生徒は、2025年度は延べ239名であった。週に3回通う子もいれば、学校復帰したが、月に数回来て過ごしたり、月に1度、農業体験のみに参加する子もいた。どの児童生徒に対しても居場所となり、その様子は「児童(生徒)シート」に記録し、校長の裁量によって全て出席と認められた。子どもたちは、「やることリスト」に、自分のやりたいことを記入し、1日を過ごした。また、体験活動や料理体験の中で、普段できないことを友だちと一緒に体験することができ、成功体験につながった。	(A) 毎週火曜水曜金曜日 午前10時～午後3時 (B) みんなの教室 (C) 6名	(D) 不登校の小学生～高校生 (E) 12名	1223
子ども食堂事業	毎週土曜日の昼に低価格で昼食を提供した。2025年度は平均して毎回約6名(スタッフ、ボランティア除く)の来場者があり、10～40食を提供した。子どもの割合が多く、昼食を食べた後も	(A) 毎週土曜日 午前11時～午後1時 (B) みんなの教室 (C) 6名	(D) 地域の子どもと大人 (E) 1日あたり約6名	483

	夕方まで過ごす子が多かった。セルフ方式のため、カレーを注いだりスプーンを取ったりすることは自分たちで行い、食べた後は、各自片付けをした。調理は、スタッフや地域の方が交代で行った。また、食材のカレーはフードバンク大分、米は地域の農家や政府の備蓄米からの寄付があり、運営に大きく役立った。自治体や企業の補助金が採択され、美味しいカレーや季節の美味しいフルーツ等をつけることができた。また、APUの学生たちが企画を考えて子どもたちと遊んだり、韓国から来た団体が子どもたちと交流したりする機会もあった。			
不登校の子どもや保護者への支援事業	児童生徒や保護者の相談、フリースクールの設立や運営に関する問い合わせがあり、相談は理事長やスタッフが受け付けた。保護者からの相談は、「フリースクールを見学させてほしい」という問い合わせが多くあった。	教育相談 (A) いつでも (B) 電話やメール (C) 1名	(D) 保護者や居場所をつくりたい方など (E) 年間約180件	7
	家庭サポートでは、月に一度、みんなの教室の保護者や、参加したい保護者を対象に、お茶やお菓子を食べながら、子育ての悩みなどを自由に話す場「はなそうカフェ」を開催した。はなそうカフェは、「話す」と「(負担を) 離す」の意味が込められており、参加した保護者からは「また参加したい」「毎月の楽しみ」という意見をいただいた。	家庭サポート (はなそうカフェ) (A) 毎月1回 日曜日 午後3時～ 午後4時 (B) みんなの教室 (C) 5名	(D) 子育て中の方や子どもに関心のある方 (E) 平均3名	8
	月に2回、子どもや保護者が参加できるピラティスクラスを開催し、交流した。	ピラティスクラス (A) 隔週土曜日 午前10時～ 午前10時45分 (B) みんなの教室 (C) 1名	(D) 子どもと大人 (E) 平均7名	71

その他目的を達成するために必要な事業	①みんなのコレクション 子どもの夢を叶えるイベント「みんなのコレクション」を別府市公会堂にて開催した。今回が第5回目で、ステージイベントや出店を行った。実行委員は理事長の他にペンギンバレエスタジオ代表の水戸さん、ダンススタジオONE代表の荒金さん。子どもモデルは22名、こども店長10名が参加した。ヘアメイク、スタイリストには高校生約20名が参加した。当日は300名ほどの来場者があり、大盛況のイベントとなった。	(A) 11月16日 (B) 別府市公会堂 (C) 13名	(D) 地域の方 (E) 約300名	1002
	②自由の時間 毎週火曜・水曜・金曜の15時～18時30分、土曜の10時～18時30分に学校に行く子も行かない子も対象にした居場所づくりを行った。夏休みには、午前中は学習や読書に取り組み、昼食後は好きなことをして過ごした。また、様々な体験活動にも積極的に参加した。	(A) 毎週火曜水曜金曜日午前10時～午後3時 (B) みんなの教室 (C) 6名	(D) 小学生～高校生 (E) 18名	357
	③こどもみらいフォーラム 居場所がなく困りを抱えている子どもや保護者に対して、別府市の子どもの居場所の情報を提供し、新たなマッチングや相互交流のきっかけをつくり、「未来の絆づくり」の場となることを目指して開催された。22ブースが設置され、各ブースでは、居場所の紹介や楽しめるゲーム等で笑顔が溢れる雰囲気であった。5年、10年と続くフォーラムにしていきたい。	(A) 8月3日 (B) 別府市公会堂 (C) 名	(D) 地域の方 (E) 約150名	153
	④クラウドファンディング 別府市では昨年、別府市在住の小中学生を対象としたフリースクール利用補助金制度がスタートしたが、他の自治体では補助金制度が充実しておらず、学校に行けない高校生や市外の小中学生をも	(A) 7月14日～8月14日 (B) オンライン (C) 6名	(D) 不登校の子どもを支援したい方 (E) 128名	19

	つ家庭は金銭的負担のためフリースクールに通いづらい現状がある。そこで、誰もが利用しやすいフリースクール奨学金制度をつくるために7月～8月にクラウドファンディングを行なった。内容は、高校生や他市の学生を対象とし、フリースクール利用料を半額支援するというものである。			
	③講演会 子どもの居場所づくり等について、理事長が登壇した。	(A) 7月18日 8月6日 3月1日 (B) 別府市、奈良県天理市、APU (C) 1名	(D) 希望者 (E) 50名、240名、100名	92
	④イベント出店 イベントに子どもたちと出店し、お仕事体験と居場所の周知を行った。	(A) 9月28日 11月2日 (B) 平和市民公園、別府公園 (C) 2名	(D) 地域の方 (E) 500名 500名	163

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

【第2号議案】

2025年度活動決算報告

2025年度 活動計算書
令和7年 4月 1日から 令和8年 3月 31日まで

特定非営利活動法人みんなの教室
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費		240,000	
賛助会員受取会費		75,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金		698,840	
3 受取助成金等			
受取民間助成金		1,905,282	
4 事業収益			
フリースクール事業収益		887,580	
子ども食堂事業収益		53,300	
自由の時間事業収益		274,400	
家庭サポート事業収益		8,000	
子どもイベント事業収益		775,879	
講演会事業収益		100,000	
5 その他収益			
受取利息		1,280	
雑収益		9,831	
経常収益計			5,029,392
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	1,312,489		
法定福利費	134,190		
福利厚生費	4,118		
人件費計	1,450,797		
(2) その他経費			
業務委託費	112,000		
会議費	98,229		
消耗品費 (フリースクール)	525,912		
消耗品費 (子ども食堂)	435,671		
消耗品費 (自由の時間)	145,621		
消耗品費 (子どもイベント)	584,391		
保険料	21,840		
旅費交通費	14,716		
研修費	129,073		
事務備品費	56,000		
支払手数料	4,141		
その他経費計	2,127,594		
事業費計		3,578,391	
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	600,000		
福利厚生費	67,095		
人件費計	667,095		
(2) その他経費			
印刷製本費	101,625		
会議費	50,000		
旅費交通費	20,000		
車両費	102,818		
通信運搬費	129,561		
地代家賃	396,930		
広告宣伝費	101,625		
接待交際費	24,058		
諸会費	15,000		
租税公課	3,640		
その他経費計	945,257		
管理費計		1,612,352	
経常費用計			5,190,743
当期経常増減額			△161,351
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△161,351
当期正味財産増減額			△161,351
前期繰越正味財産額			△762,191
次期繰越正味財産額			△923,542

令和7年度 貸借対照表
令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人みんなの教室
(単位:円)

科目		金額	
I	資産の部		
	(現金・預金)		
	現金	136,700	
	普通預金	303,672	
	現金・預金計	440,372	
	流動資産合計		440,372
	資産合計		440,372
II	負債の部		
	流動負債		
	理事借入金	1,363,914	
	流動負債合計	1,363,914	
	負債合計		1,363,914
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	△762,191	
	当期正味財産増減額	△161,351	
	正味財産合計		△923,542
	負債及び正味財産合計		440,372

令和7年度 財産目録
令和8年 3月 31日現在

特定非営利活動法人みんなの教室
(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
流動資産			
現金預金			
手元現金	136,700		
GMOあおぞらネット銀行普通預金	303,672		
流動資産合計		440,372	
資産合計			440,372
II 負債の部			
理事借入金	1,363,914		
流動負債合計		1,363,914	
負債合計			1,363,914
正味財産			△923,542